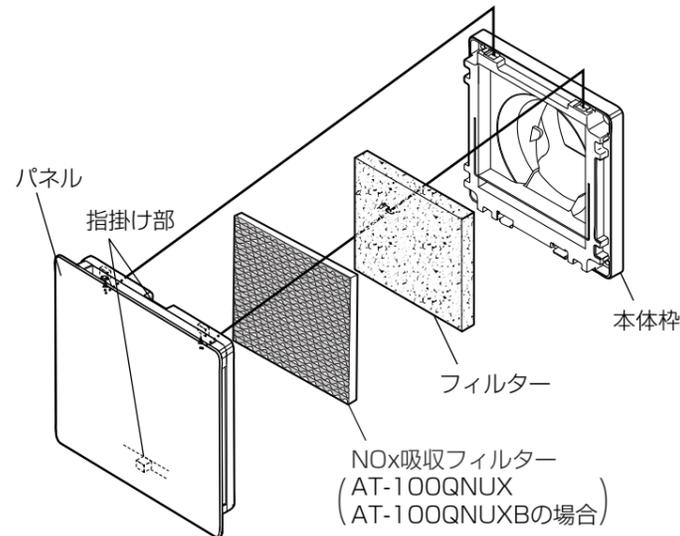


お手入れ

フィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、約2か月に1回を目安に清掃してください。



交換用フィルター	適用機種
AT-100QNUB-F	AT-100QNU AT-100QNUB
AT-100QNUX-F (セット)	AT-100QNUX AT-100QNUXB

- パネルをはずす。
●パネルの指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてはずします。
- 本体枠の内側からフィルターを取り出す。
●AT-100QNUX、AT-100QNUXBは、NOx吸収フィルターの上端部を軽く押さえると取り出しやすくなります。
- フィルターの清掃〈フィルターは再生タイプです〉
●軽く手でたたかまたは、掃除機で吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。フィルターは、水洗い5~6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。
- パネルの汚れは、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
- フィルター・パネルを元通り取付ける。

給気ユニット〔壁取付専用〕



室内給気部材
形名
AT-100QNU
AT-100QNUB (防音タイプ)
AT-100QNUX (NOx吸収フィルター付)
AT-100QNUXB (防音タイプNOx吸収フィルター付) 取付工事・取扱説明書

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置

この給気ユニットは、24時間換気方式の給気口として使用します。

■取付工事を始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



注意

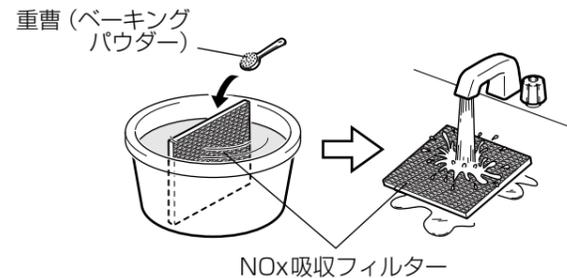
誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの



指示に従い
必ず行う

- 取付けは、確実に（落下によりけがをすることがあります）
- 取付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをすることがあります）

AT-100QNUX、AT-100QNUXB: NOx吸収フィルターの清掃のしかた



※重曹またはベーキングパウダーは、スーパー等で求めください。

1. バケツ1杯（18リットル）の水に大さじ3杯の重曹（じゅうそう）またはベーキングパウダーを入れて溶かす。（アルカリイオン水を使用の場合は重曹は不要）
2. NOx吸収フィルターを約1時間つけ置きする。
3. NOx吸収フィルターを水ですすぎ洗いをする。
4. ティッシュ等の上に置き水気を取る。
●NOx吸収フィルターは水洗い5~6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。

お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けん材入の洗剤（変質・変色する原因になります）
- NOx吸収フィルターは、強く押さえると破損することがありますので、ていねいに扱ってください。
- NOx吸収フィルター付の機種（AT-100QNUX・AT-100QNUXB）の場合、製品やフィルターに黒い粉が付着することがあります。これはNOx吸収フィルターを形成する活性炭の粒子ですので品質上は問題ありません。

取付け前のお願い

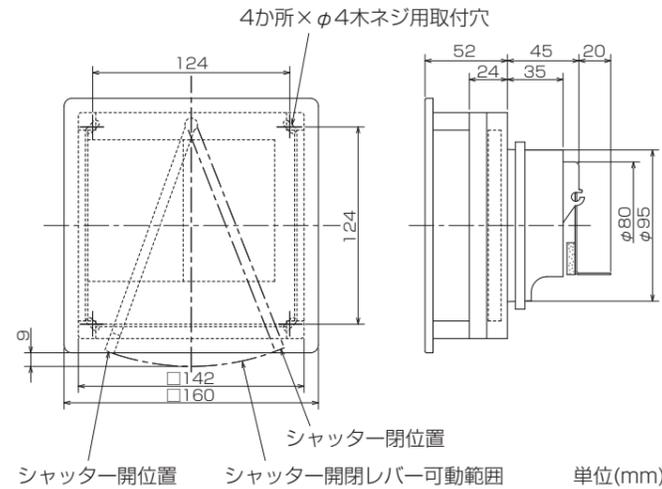
- この製品は排気による自然給気口として、住宅の居住室内の壁面に取付けます。それ以外の場所には取付けないでください。
- この製品は、フィルター付ですので、フィルターのメンテナンスの可能な場所に取付けてください。
- 下記環境下で使用しますとシャッター表面から結露水が滴下することがあります。
（室外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度20℃・室内湿度50%以上）
- 寒冷地区(次世代省エネ基準のⅠ、Ⅱ地区)では使用しないでください。
- 高温(40℃以上)になる場所には取付けないでください。
- 火気に近い場所や油煙の多い場所には取付けないでください。
- シャッター開閉レバーの可動範囲に他の部材を設置しないでください。
- 側面に通気開口部があるため、壁・天井に近い部分が汚れる場合があります。
- 外気の取り入れは燃焼ガスなどを吸い込まない位置を選んでください。
- フィルターが設置されていますが、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側の外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。
- 屋外側には深形フードを使用ください。また、取付場所に合ったフードの選定をおすすめします。

株式会社メルコエアテック

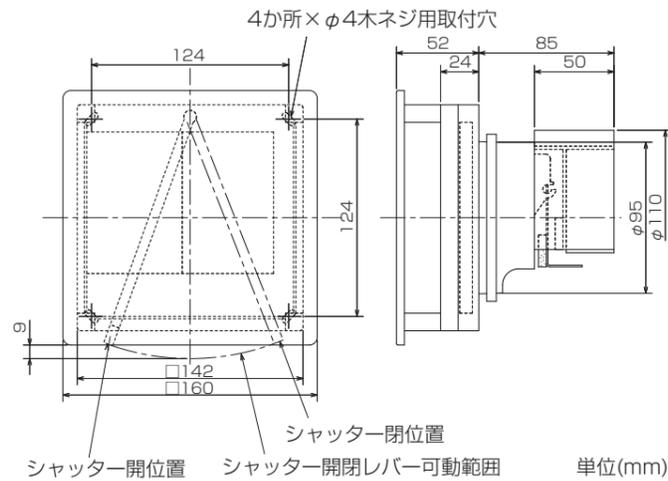
〒508-8691 岐阜県中津川市駒場526-2 電話0573-66-9893 FAX0573-66-9894

外形寸法図

■AT-100QNU・AT-100QNUX



■AT-100QNUB・AT-100QNUXB



■付属部品

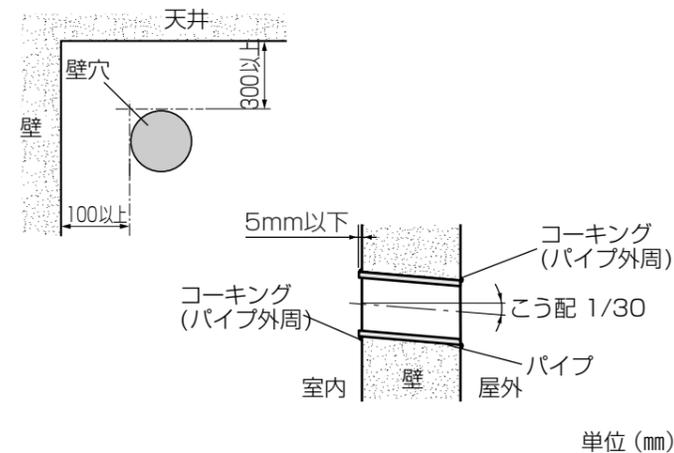
- パッキン(厚さ約5mm)…1本
- 木ネジ……………4本

■適用パイプ

- 塩化ビニル管…φ100(4番管)
- 鋼板管……………φ100

取付方法

1. 取付前の準備



壁穴へのパイプの固定

1. 取付け場所を決めて穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。

2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

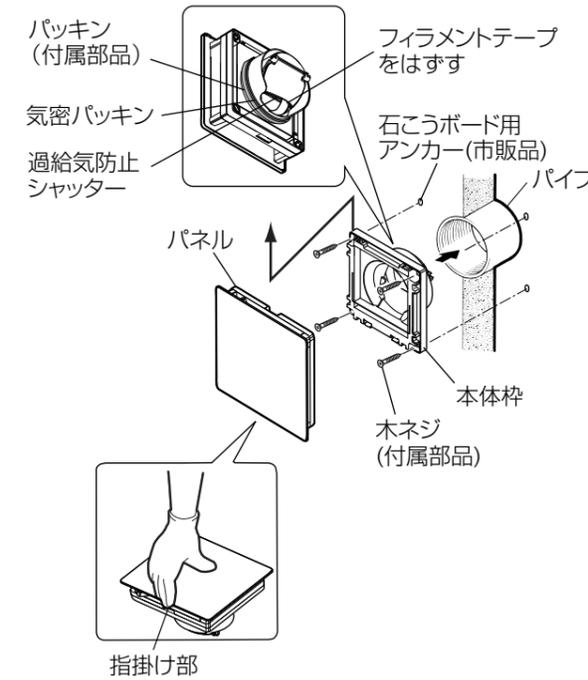
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこす配をつけ、固定してください。
- 室内側のパイプ端面は、壁面より5mm以上出ないように施工してください。

取付方法 つづき

2. 本体の取付け



1. 過給気防止シャッターを止めているフィラメントテープをはずす。
2. パネルの指掛け部に指を掛け、手前に引いて引掛け部を上側にずらしてパネルをはずす。

お願い

- パネルの取りはずしは指掛け部で行ってください。(パネルの一部がはずれて落下する場合があります)
3. 図のように付属の木ネジ(4本)で確実に固定する。
- ### お願い
- 垂直な壁面に取付け、過給気防止シャッターが円滑に動く状態で取付けてください。
 - 施工パイプがVU管の場合、付属のパッキン(5mm)を気密パッキンの上に巻き付けてください。
 - 製品が水平ではない場合、取付ネジをゆるめて傾きを調整してください。
 - 石こうボードに固定する場合、石こうボード用アンカー(市販品)を使用して取付けてください。

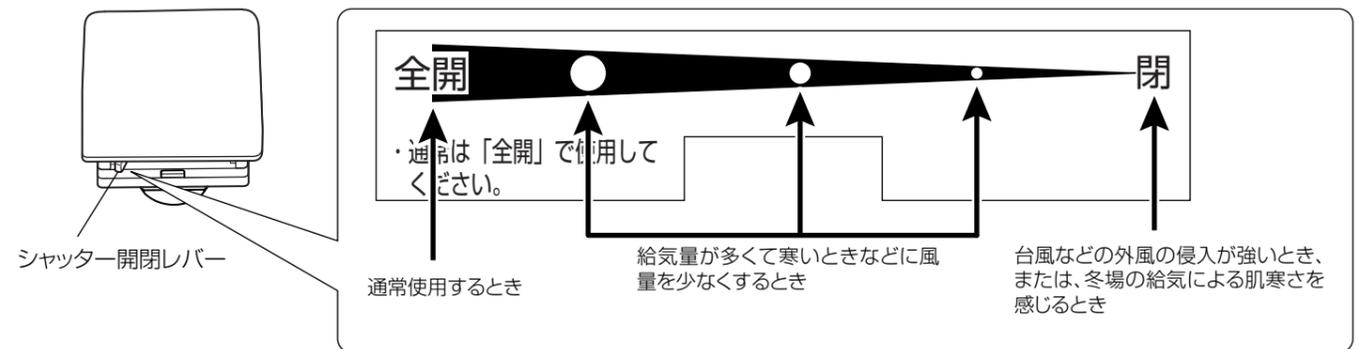
4. パネルを本体枠に確実に取付ける。

5. 屋外側にフードを取付ける。

お願い

- 雨水浸入防止のため深形フードをご使用ください。
- 風雨が強く下から吹き上げがある場合は耐外風高性能フードの選定をおすすめします。
- 外の騒音が大きい場所では防音フードの選定をおすすめします。

使用方法



シャッターの開口寸法(面積)は、「全開・閉」以外に3段階の調節ができます。調節する際は、上記を参照してください。

お願い

- この給気ユニットは、通常「全開」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がはげしいときはパネル下部のシャッター開閉レバーをスライドさせて「閉」にします。その後必ず「全開」状態にすることを忘れないでください。
- パネル表面は使用環境条件により結露が発生し、パネル表面に水滴が付いたり滴下する場合がありますので結露による水滴を拭き取ってください。